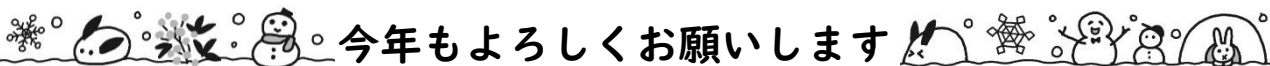


令和4年1月18日
府中市立若松小学校
校長 小林 力



冬休みが明けてから保健室では、「頭がくらくなる」「寝不足です…」という症状を訴えるお子さんが目立っていました。お休み中にみだれてしまった生活リズムのままでは、からだの調子も崩れやすくなります。徐々に冬休みモードから切り替えができるよう、家庭でもご支援お願いいたします。



～おしらせ～

3学期発育測定の結果を、順次けんこうカードでお知らせしています。ご家庭に届きましたら、確認印またはサインの上、各学級へご提出ください。なお、けんこうカードがご家庭にある、またはけんこうカードを紛失してしまったお子さんには、仮の用紙をお渡ししています。見つき次第、仮の用紙と一緒にご提出ください。

～路面凍結・着雪時の歩行について～

年明けの1～2月は例年、多くの地域で寒さのピークに入る時季です。雪はもちろん、雨が降った後にも路面の凍結が起きるなど、歩行に注意を要する場面が多くなります。着雪・凍結がみられる日のお子さんの登下校に際して、主なポイントをまとめました。

- 朝（登校時）は凍結する箇所が多く、特に危険な時間帯
- 石畳やタイル、マンホール、横断歩道などは滑りやすい
- 日中も陽が当たりにくく、雪や氷が残りやすい場所をチェック

普段履きのスニーカー等で雪や氷の上を歩くと転倒の危険性があるほか、水がしみると冷えや「しもやけ」の原因にもなります。雪や氷が多く残っているときは長靴や雪用ブーツ等、すべりにくく水に強い履き物の着用をお勧めします。

なお、保健室でも転倒や水濡れに備えて替え着用を用意していますが、数やサイズに限りがあります。あらかじめおうちからお子さんに持たせるなどの対策もご検討いただければ幸いです。



「つかれているよ」「調子がよくないよ」というからだからのメッセージかもしれません。気付いた時は、早めの対処を。

新型コロナウイルス感染（オミクロン株）急拡大中

12月下旬から新型コロナウイルス感染症のオミクロン株による市中感染が確認されると、年が明けて感染者数が倍増し、1月17日の時点で全国の一日の感染者数が2万5千人を超えとなりました。オミクロン株は、感染力が強いことや、ワクチン接種をしても感染する可能性があると言われていますが、まだ未解明な点が多くあります。

学校では、「府中市立学校 感染症予防の手引き」（令和3年9月10日時点）に基づき、消毒や教室の換気、児童の手洗いの指導を継続していきます。ご家庭におかれましても、引き続き感染症対策にご留意いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策におけるご家庭へのお願い

☑ 登校前に健康観察表を記入してください



- 検温・体調確認を行い、必ずお子さん自身または保護者の方がご記入ください。
- 記入漏れ、健康観察表を忘れたという児童が多く見られます。また、「健康観察表をなくしてしまったので、検温や健康観察をしていません」という児童も見られます。体調不良者の早期発見や感染拡大防止のために、お子さんが検温・健康観察を行っているか、確認をお願いします。（お休み中も記入してください。）

☑ ご家庭で様子を見てください



- 保護者の方がお子さんに感じる「いつもと違う」様子は、新型コロナウイルス感染症に限らず、体調不良のサインだったということが多くあります。軽微な場合でも無理せず登校を見合わせ、必要に応じて医療機関へ受診をしてください。
- 登校後、お子さんが体調不良の場合は、保護者の方にお迎えをお願いします。

◎ 児童や同居家族が、①陽性となった場合、②PCR検査を受ける場合、③検査結果が分かった場合は、必ずお電話で学校へ連絡をしてください。

◎ 児童や同居家族に発熱やPCR検査を受けるなどの感染疑いがある場合には、無理をして登校しないことを改めてお願いします。

◎ ウイルスの吸い込みを防ぐには、自分の顔の形に合うマスクを正しく着用し、かつ自分と相手双方が着用していることが必要です。なお、不織布マスクは飛沫拡散・防止には効果が高いことから、学校内では不織布マスクを使用されることを推奨します。

◎ 個人の体の状態により、免疫力は変わってきます。免疫力を高めるため、早寝・早起き・バランスのよい食事など、規則正しい生活を心がけてください。

※ 感染症対策等、個別の配慮が必要な場合は担任までご相談ください。

